

手話通訳  
あり

入場  
無料

第7回 御前崎市民公開講座

# 腎臓のはなし

平成22年

9月11日

開場 14:00 開演 14:30 閉演 16:45

場所 市立御前崎総合病院 2階講堂  
御前崎市池新田2060 電話 0537-86-8511

## 開会の挨拶

14:30~14:35

御前崎市 石原 茂雄 市長  
司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

## 講演 「血液透析について」

14:35~15:05

座長 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生  
演者 市立御前崎総合病院 内科専門科長 高橋 聡 先生

## 特別講演 「健康長寿と慢性腎臓病」

15:05~16:05

座長 池谷医院 院長 池谷 満 先生  
演者 浜松医科大学 名誉教授 菱田 明 先生

休憩 10 分

## 総合討論

16:15~16:45

全演者・座長  
司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

## 閉会

駐車場に限りがありますので乗り合わせの上  
お越し下さい。

お問合せ ※事前の申込は不要です。

市立御前崎総合病院 TEL 0537-86-8511  
ノバルティスファーマ(株) TEL 053-457-0521

主催：御前崎市・小笠医師会・ノバルティスファーマ(株)

後援：NHK静岡放送局・静岡新聞社・静岡放送・中日新聞東海本社・朝日新聞静岡総局  
読売新聞静岡支局・毎日新聞浜松支局・郷土新聞社・御前崎ケーブルテレビ(順不同)





今回の御前崎市市民公開講座は、腎臓のはなしを取り上げました。皆さんもご家族やご近所の人で腎臓が悪いと言われた方や血液透析をされている方をご存知かと思えます。腎臓病の人は多いですが、症状がほとんどなく、患者さん自身も知らない場合が多くあります。実際に症状が出現するのは、末期の腎不全になってからで、食欲不振やだるさ、息苦しきなどで血液検査をしてやると腎不全が原因であることに気づくこともあります。腎臓はもの言わぬ臓器ですが、一度悪くするとともにどらない事が多く、早期の治療が大事です。最近、慢性腎臓病（CKD）を早期に発見して治療し、末期腎不全に陥る症例を減らそうと日本腎臓学会が中心となって活動しています。健康診断や他の病気で受診したときなどに血液検査とともに尿検査も行い、腎臓病をはやく発見しようとしています。腎臓病も早期発見早期治療が大事です。

その昔、私が小学校に通っている頃におばあさんから、おじいさん（祖父）が腎不全で苦しんで死亡した話を聞きました。戦後の昭和20年代に農協の組合長をしていた祖父は腎臓病を患い、足がむくみ息苦しきもあり、食事を自宅で食して腎臓病の療養をしていました。おばあさんがひどくなくなって最終的には、呼吸が悪くなって死亡したようです。亡くなった後、おばあさんは瓶いっぱいを作って置いて置いた梅干が一つ残らずなくなっているのに気づいたそうです。「味気ない食事で辛かったのだろう。おじいさんは食べる事が大好きだったから。」とおばあさんが話した言葉が心の底に残っています。私が医者になり腎臓病の患者さんに減塩食3gの食事を指示したことがあります。その頃私を指導してくれた先輩医師が、「3gの減塩食が食べられると思うのか？自分で食べてみてください。」と言うので、実際に食してみました。3gの減塩食は食べる事ができませんでした。この患者さんの食事は減塩と同時にタンパク制限カリウム制限も加わっていたので、食事という代物ではありませんでした。極端な食事制限は辛いものだと思ひ知りました。それからは、減塩食などの食事制限をせざるを得ない事があっても、常に患者さん食事が低下しないかどうか注意を払っています。今でも腎臓病に対する食事療法は治療の基本ですが、食事という日常生活の基本的なことを変えるのは大変な労力を要することです。現在は、腎臓病に対して種々の薬物療法や透析療法あるいは腎移植までの治療法があり、昔のように腎不全に對して食事療法以外には手も足もでない状態ではありません。しかし、腎臓病（本人は気づいていない事が多い）の方は早期に受診していただき、腎臓を悪くする生活習慣や病氣（高血圧、糖尿病など）をしっかりコントロールしてもらい、末期の腎不全（透析が必要な状態）になるのを防いでいくのが大事です。

今回のこの第7回市民公開講座では、前日本腎臓学会理事長で前浜松医科大学教授菱田明先生に「腎臓のはなし」をお聞きする機会を作ることができました。菱田明先生は、慢性腎臓病（CKD）の早期発見・治療の主な提唱者であり、日々腎臓病患者さんを実際に診療されてきた臨床医です。貴重なお話がうかがえると思います。ぜひ奮ってご参加ください。